

[038]九州人類学会報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2344475>

出版情報 : 九州人類学会報. 38, 2011-07-10. Kyushu Anthropological Association
バージョン :
権利関係 :

九州人類学研究会 平成 22 年度活動報告

【会員数】(2011 年 6 月 15 日現在)

会員 120 名

(内、入会者 4 名)

退会者 3 名

【平成 22 年度運営委員 (五十音順)】

飯嶋 秀治 (九州大学) : 会報編集委員

伊藤 泰信 (北陸先端科学技術大学院大学) : 会報編集委員

太田 好信 (九州大学) : 日本文化人類学会九州・沖縄地区研究懇談会担当理事

大谷 裕文 (西南学院大学)

片多 順 (福岡大学)

片山 隆裕 (西南学院大学) : 会報編集委員長

慶田 勝彦 (熊本大学)

白川 琢磨 (福岡大学) : 会計監査

關 一敏 (九州大学) : 会計・庶務

長谷 千代子 (九州大学) : 会報編集委員・会報編集事務

波平 恵美子

古谷 嘉章 (九州大学) : 会長

宮岡 真央子 (福岡大学)

森田 真也 (筑紫女学園大学) : 会報編集委員

計 14 名

活動報告

7 月例会 : 総会・シンポジウム

【日時】平成 22 年 7 月 10 日 (土)

【場所】九州大学箱崎文系キャンパス

【運営委員会・総会】

13 : 00~14 : 00 九州人類学研究会運営委員会 (運営委員のみ)

14 : 10~14 : 55 九州人類学研究会総会 (会員全員)

【研究発表会】15 : 00~18 : 00

① 長谷千代子 (九州大学) : 「聖地と観光資源 : 雲南省徳宏州芒市の上座仏教建築を中心に」

② 黒崎龍悟 (福岡教育大学) : 「タンザニア農村における農民グループ協議会の形成をめぐる諸相」

参加者 30 名

10月例会：第9回 九州人類学研究会オータムセミナー

【日時】平成22年10月30日（土）～10月31日（日）

【場所】サンヴィレッジ茜

【プログラム】

10/30(土) 14:00～17:00

セッションA：「土地・法・不安：「開発」に揺れる人びと」

木村 周平（富士常葉大学社会環境学部）

「土地と大地をめぐる不安について：トルコ、イスタンブールの耐震都市計画の事例から」

高野 さやか（東京大学大学院総合文化研究科）

「土地をめぐる期待と不安：インドネシア・東スマトラの土地紛争における争点の移動」

清水 貴夫（名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程）

「茶会がつなぐキズナ：都市計画による離散を乗り越える人々の営み」

松岡 陽子（名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程）

「希望のない土地：ケニア農村地帯に成立したスラム」

コメンテーター：石垣 直（沖縄国際大学総合文化学部）

10/31(日) 9:00～12:00

セッションB：「エイジングの人類学：高齢期と「幸せ」」

高橋 絵里香（日本学術振興会特別研究員）

「エイジングと地域福祉における道徳論再考：社会的なものの領域をめぐる語り口から」

加賀谷 真梨（日本学術振興会特別研究員）

「「親密圏」再考：沖縄の高齢者福祉の現場に見られる人びとの<間>に着目して」

福井 栄二郎（島根大学）

「命名とケア：ヴァヌアツ・アネイチュム島の高齢者の実践から」

後藤 晴子（九州大学大学院人間環境学府博士課程）

「老いの安寧と死の関わり」

コメンテーター：片多 順（福岡大学人文学部）

参加者 23名

3月例会：平成22年度修士論文発表会

【日時】平成22年3月20日（日）13:00～17:35

【場所】九州大学箱崎文系キャンパス

【修士論文発表会】

岡本圭史（九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻 共生社会学コース）

「宗教現象の生成と保持——新宗教教団におけるその機構」

保利美貴（九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻 共生社会学コース）

「受け継がれ、手放される民俗—鹿児島県志布志市における神さあと人の営み」

志垣直哉（九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻 共生社会学コース）

「『解散』した信仰のゆくえ——長崎県生月島辻のカクレキリシタン組織を事例に」

孟一蘇（福岡大学 大学院人文科学研究科 社会・文化論専攻）

「『風俗習慣』と『伝統文化』との葛藤—中国江蘇省南通市の葬儀をめぐる—」

藪田紘規（福岡大学大学院 人文科学研究科 社会・文化論専攻）

「葛藤する身体—身体と武道のエージェンシーをめぐって」

能登智恵子（九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻 共生社会学コース）

「不登校児の親の会—鹿児島 IH センターの事例から—」

森田祥平（九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻 共生社会学コース）

「今井祇園祭をめぐる記憶と実践」

池田悠南（九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻 共生社会学コース）

「祭礼の変容と地域社会の現在—三池藩大蛇山を事例に」

室越龍之介（九州大学大学院人間環境学府 人間共生システム専攻 共生社会学コース）

「適応する祭り 三池本町大蛇山の事例を中心に」

参加者：25名

会報の発行

『九州人類学会報』第38号の刊行（平成23年7月10日）

名簿の発行

『九州人類学研究会会員名簿』の刊行（平成23年7月10日）